



校長室から

東京で平戸に触れる

校長 久家 彰夫

12月8日、2年生が修学旅行に出発しました。平高としては4年目の東京です。初めての飛行機、初めての満員電車、尋ねれば意外に親切な東京の人。テレビで見た雷門の大提灯、フジテレビの球体、スカイツリー。劇団四季のミュージカルと東京ディズニーランドは毎年生徒に大きな感動を与えていますが、今年は「平戸」もテーマの一つでした。

4月2日に上野にオープンした平戸のアンテナ居酒屋「平戸漁港六次朗」。6次産業の学習もかねて、2日目の都内研修の日の昼食を平戸市商工物産課にお願いしたところ、便宜を図っていただきました。生徒は東京の平戸の店に驚きながらも、すり身や慈眼の塩など平戸の食材を使ったビュッフェ形式の多彩なメニューとそのおいしさに大満足。平戸市の担当者も来られて食材を鮮度を保って輸送する工夫など話していただきました。

食事を終えたころ平高東京同窓会の方が4名見えられ、「皆さんの先輩にはいろいろな分野で活躍している方もたくさんいる。平戸高校の生徒であることを誇りに思って頑張りたい」と激励していただきました。ふるさとを遠く離れて暮らす同郷の人の、後輩への温かい想いが伝わってきたことでしょう。

そして日本大学法学部。中部出身の永田菊四郎先生については、苦学して日大に学び、ドイツに留学して学位を得、第5代日大総長を務められたことや、私財を投じて永田記念図書館を平戸市に寄贈されたことがふれあいセンターの顕徳碑に書かれています。日大の大きさを目で見、大学で改めて永田先生の功績と人柄を聞いて、日大総長の重みと先生の偉大さを実感できたのではないのでしょうか。

「旅行中、平戸の空気はとてもおいしいとずっと思っていた。」

東京で触れた平戸は、生徒に郷土について考える機会を与えてくれたと信じます。

地域清掃活動

12月4日（金）に1年生で地域清掃活動を行いました。強風が吹き気温も低い中での活動となりましたが、学校周辺を歩きながらゴミを拾いました。わずかな時間でも多くのゴミが集まり、改めて環境への意識を高めることができました。



地域開放講座

11月下旬から4回実施されました、地域開放講座「金管楽器入門講座」が、12月17日（木）に閉校式を迎えました。5名の参加者の方々は、トランペットやチューバなどの楽器に触れ、親しむことができたのではないかと思います。



修学旅行

2年生は12月8日(火)から3泊4日の日程で、東京方面への修学旅行を実施しました。東京の街並みや文化に触れるとともに、ミュージカル鑑賞や企業・上級学校の見学などを実施し、たいへん充実した4日間となりました。



1日目	浅草寺散策 ミュージカル「リトルマーメイド」
2日目	上野散策 東京都内班別自主研修 昼食：六次郎
3日目	日本大学見学 JICA見学 東京ディズニーランド
4日目	東京スカイツリー

リトルマーメイドでは、演技が上手で、本物の人魚が泳いでいるように見えました。声もとてもきれいでした。(2年生男子)

JICAではワークショップに取り組み、世界の貧困問題について話し合いました。みんなで意見を出し合って発表することで、内容を深く知ることができました。(2年生男子)

2日目の昼食は、平戸の野菜や魚を使った料理が食べられる「六次郎」でいただきました。慈眼の塩を使ったおにぎりなど、東京で平戸のご飯を食べられるとは思っていませんでしたので、いい体験になりました。(2年生女子)



職業講話～農業の魅力～

12月11日(金)、1年生の授業「産業社会と人間」において、地でイチゴやアスパラなど生産されている前川耕市様を講師に迎え、農業の魅力について講話をしていただきました。



難しい内容だと思っていましたが、前川さんがフレンドリーに話してくださったので、身近に農業を感じることができました。(1年生男子)

PTA研修旅行

12月5日(土) PTA研修旅行が行われました。研修先の佐賀女子短期大学(佐賀市)では、施設や授業見学を行いました。平戸高校から入学した3名の学生も元気な姿を見せられました。また、ハウステンボスでは環境設備を見学しました。普段の華やかなテーマパークではない、環境に対する細やかな取り組みを感じることができました。昼食はホテルオークラJRハウステンボスでのバイキングでした。移動中のバス車内ではビンゴゲームなどの企画もあり、大いに盛り上がりました。



1月の主な行事

8日(金)	第3学期始業式
15日(金)	漢字検定 親と子のお料理教室
22日(金)	ジョブガイダンス(1年)
24日(日)	全商簿記実務検定試験
26日(火)	学年末考査(3年) ~29日
31日(日)	全商情報処理検定試験

